

龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ

	2025-26 年度	例 会：毎週木曜日 12:30～13:30
	会 長 伊藤充弘	龍野経済交流センター1 階
	幹 事 神名大典	事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1
	公共イメージ・広報委員長 段 克史	龍野商工会議所内
		TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360
		E-mail tatsunorc1@gmail.com

No.29 (3231 号) 2026 年 (令和 8 年) 3 月 5 日 (木) 曇
例会記録

点 鐘 君が代
奉仕の理想
来 客 なし
来訪会員 なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	マークアップ	修正出席率
20	13	2	7	72.22%	9	5	94.12%

会長の時間 ●伊藤会長

これまでロータリーの目的から始まり、ロータリーの活動やホームページの活用などについてご紹介させていただきましたが、今月から RLI(ロータリー リーダーシップ研究会) について、その内容などを数回に分けてご紹介させていただきます。

RLI は、毎年開催されており 3 回に分けて実施されています。龍野クラブでは富田会員や私が参加して修了証を頂きました。その内容は次の通りとなっています。

1. パート I

- ①ロータリーにおけるリーダーシップ ②私のロータリー世界 ③倫理と職業奉仕
- ④財団 I 私たちの財団 ⑤会員の参加を促す ⑥奉仕プロジェクトを創造する

2. パート II

- ①成功に導くための計画 ②会員を勧誘する
- ③チーム作りとクラブコミュニケーション
- ④ロータリー米山記念奨学事業 ⑤ロータリー財団 II 目標とする奉仕 ⑥強いクラブを創る

3. パート III

- ①ロータリーの機会 ②効果的なリーダーシッ

- プ戦略 ③ロータリー財団 III 国際奉仕
 - ④公共イメージ ⑤規定審議会・決議審議会 ⑥変化をもたらす
- ### 4. 卒後コース

- ①ロータリーの歴史 ②ロータリーの理念 ③ロータリーの新しい流れ ④クラブを元気にしよう

これらの内容で研修が進められますが、座学ではなく 8 人前後のグループに分かれてそれぞれの考えを自由に発言するという形式で行われます。その発言を促す人はラーニングファシリテーターと呼ばれています。

ロータリーにおける研修はほとんどがこの形式で進められていくようです。多様な意見を聴くだけでなく発言することで参加者の理解度が深まります。

ロータリー活動の為というより、自身の事業の進め方や考え方にも大変ためになる研修ですので、是非とも時間を作って参加されることをお勧めいたします。



幹事報告 ●神名幹事

1. 以下の文書が届いております。

- ① 地区事務所より、国際ロータリー第 2680 地区「メディア交流会」の階差のお知らせ
- ② 地区事務所より、財団室 NEWS 3 月号
- ③ 株式会社オクトンより、オクトンカタログ 2026 年
- ④ 龍野神社奉賛会より、御礼
- ⑤ 神戸 RC より、創立 100 周年記念誌

2. Box 配布

- ① GOVERNOR'S MONTHLY RETTER No.9

3. 連絡事項

- ① IM の出席回答アンケート・西播ゴルフのアンケートを回覧しております。回答お願いいたします。

例会プログラム

卓話 「播州そうめんの成り立ち」 ●伊藤充弘会員



播州そうめんの成り立ちと 機械そうめんへの発展

— 伝統と工業が重なる産地 —

本日のテーマ

- **播州そうめんは、単なる食品ではありません。**
- 地域の自然
- 歴史
- 人の知恵
- 産業技術の進化
- が重なって生まれた **日本を代表する食文化**です。

本日の構成

- ① 日本のそうめん文化のルーツ
- ② 播州が産地として成立した理由
- ③ 手延べから機械そうめんへの進化

そうめん文化のルーツ

- 起源：中国から伝わった小麦麵文化
- 奈良時代：日本へ伝来
- 室町時代：現在の形に近づく
- 特徴
 - ✓ 細い
 - ✓ ゆで時間が短い
 - ✓ 保存が効く
 - ✓ 夏でも食べやすい
- → 日本の気候と生活文化に適応

播州そうめんの歴史は600年前

- 最古の記録
 - ・ 1418年 太子町の斑鳩寺の記録に「索麵」の記述（起源は中国から伝わった「索餅（さくべい）」（甘い菓子）と言われている）
 - ・ 少なくとも600年前には播州で食べられていた
 - 長い食文化の蓄積
 - ・ 地域の日常食
 - ・ 保存食
 - ・ 贈答文化
- ※播州とそうめんの関係は600年以上続いているとされる。

播州に根付いた理由

播州（揖保川流域）は理想的環境を持っていました。

- ① 小麦（播州平野）
- ② 塩（赤穂）
- ③ 水（揖保川）
- ④ 気候（冬の乾燥）

自然条件が産地を育てました。

・農閑期の副業

※揖保川を利用した物流機能が大きな役割を果たす

江戸時代の発展

奈良・三輪の技術が伝来
→本格的な生産開始

播州は「**技術導入型産地**」

- ✓ 新技術を取り入れる
 - ✓ 改良する
 - ✓ 品質を高める
- この文化が後の発展へ

ブランド化の成功（明治）

象徴的存在：揖保乃糸（1887年）

意味するもの

- ・品質保証
- ・共同ブランド
- ・産地全体の価値向上

→ 近代的な地域ブランド戦略

手延べそうめんの価値

工程

- ・熟成
- ・縫りをかける
- ・何度も延ばす
- ・油を使う

生まれる価値

- ✓ コシ
- ✓ のどごし
- ✓ 伸びにくさ

これは **技術 × 職人文化**

近代化の波

明治時代

- ・産業革命
- ・都市化
- ・人口増加

→ 大量生産の必要性
食品も工業化の時代へ

機械乾麺の誕生

■ 20世紀初頭

- ・機械製麺導入企業が登場
- ・1908年創業企業が機械製麺導入

■ 機械製麺とは

1. 小麦粉を練った固まりを圧延し帯状に薄くする
2. それをさらに薄く引き伸ばして切り刃を通して切出す製法
(手延べは、太く作った麺を縫りをかけながら細く伸ばす製法)

※20世紀初頭には機械化導入が進み始めた。

機械そうめんの価値

- 安定品質
- 安定供給
- 価格安定
- 全国流通

→ 食文化を「日常食」に

機械素麺の製麺技術が派生して生み出した食品

- ① 即席めん、生めん、ゆで麺、餃子の皮などの麺類全般
- ② カニカマ等の練り製品、かりんとうやクラッカー等の菓子類

播州の最大の強み

伝統 × 工業

- ✓ 手延べ文化
- ✓ 機械乾麺技術

両方を持つ産地は世界的にも珍しい

現代の機械製麺技術

- ・高精度圧延
- ・温湿度管理
- ・熟成制御
- ・高度乾燥技術

機械 = 単純
ではなく
高度な食品工学

現代の価値

現在のそうめん

- ✓ 夏の食文化
- ✓ 家庭食
- ✓ 海外展開
- ✓ 健康食材

多様な可能性を持つ食品へ

これからの可能性

- ① 健康価値
- ② 時短食品
- ③ 食文化価値
- ④ 世界展開

伝統を守るだけでなく進化し続ける産地へ

まとめ

播州そうめんは自然・歴史・技術・ブランド
すべてが重なった文化です。
細い麺ですがその背景には
6百年もの歴史
手延べ職人の技術と機械製麺の技術
自然条件と人の知恵
があります。
これを次世代へつなぐことが、私たちの使命です。

ご清聴ありがとうございました



お 祝 ●誕生月



伊藤充弘会員
北村博会員
永富靖会員

Smile Box

伊藤会員	本日卓話を担当させていただきます。
神名会員	伊藤さんの卓話楽しみです。「チャンポン麺の成り立ち」も聞きたかったです。
一色会員	イトメンさんの卓話非常に楽しみです。
片岡会員	伊藤会長の卓話楽しみです。
田中会員	伊藤会員の卓話楽しみにしております。
杉本会員	伊藤様の卓話楽しみにしています。
高岸会員	伊藤会員の卓話楽しみに聞かせて頂きます。

藤谷会員	伊藤会員の卓話楽しみに聞かせて頂きます。
北村会員	伊藤会長の卓話勉強させていただきます。
皆木会員	伊藤会員の卓話楽しみにしております。
松浦会員	そうめんの成り立ちの卓話楽しみです。よろしくお願ひします。
富田会員	伊藤会長の卓話を楽しみにして。
谷口会員	おふくろの実家は70年程前ソーメンを作っていました。



地区行事

日程	行事名	出席予定
3月7・8日	地区大会	希望者
3月14日・15日	2026年会長エレクト・ラーニングセミナー (PELS)	一色会長エレクト
3月29日	2026年次期幹事・ラーニングセミナー	本條次期幹事

例会予告

例会日	プログラム	担当
3月12日	卓話「事業承継における M&A の有効活用」	高岸会員
3月19日	卓話	片岡会員
3月26日	公共イメージ・広報委員会アワー	段委員長
4月2日	創立記念例会（夜間）	永富委員長
4月9日	卓話	荻野会員
4月16日	卓話	神名会員
4月23日	卓話	未定
4月30日	休会	
5月7日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー報告	次年度役員
5月14日	卓話	未定
5月21日	青少年奉仕担当委員会アワー	本條副委員長
5月28日	次年度役員会	次年度役員委員長
6月4日	卓話	未定
6月11日	地区委員報告	各地区委員
6月18日	家庭集会（夜間）	北村委員長
6月25日	理事・役員・委員長退任挨拶	理事・役員・委員長

